

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科 俳優コース											
舞台実習Ⅰ											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	105	単位	3
担当教員	轟田俊哉、今村由香、中野志朗			実務経験	有	職種	演出				
担当教員紹介											
劇団文学座 所属 早稲田大学第一文学部英文科 文化庁在外研究員としてベルリンに滞在。代表作に「崩れたバランス」、「アルトゥロ・ウイの興隆」、「根っこ」などがある。芸能事務所の演技講師の他、幅広い年齢層を対象にした市民ワークショップの講師を務める。											
授業概要											
この授業では、学期末の発表会を主として、その他小規模のグループ発表を行い、表現作品を仕上げることを実践する。発表後には必ず反省を行い、自己の表現、他者の表現についての検証を行う。											
到達目標											
学生は、舞台作品創造において自己の理解や技術をより高める為に、稽古を積み重ねる中で他者や外界から新しい発見をし自らのものとする柔軟な姿勢を身に着けることを目標とする。戯曲を読み込む力をつけ、演出の意図を正しく理解したうえで、自らの表現を構築することができるようになることを目指す。相手役に伝える、相手役の意図を受け取る経験を重ね、そのなかから演技を構築できるようになることを目指す。											
授業方法											
シアターゲームなどでウォーミングアップした後、その都度テキストを配布し、エチュードを行う 中間発表本番に向けて稽古を行う											
成績評価方法											
課題・小発表会 30% 中間発表などの舞台成果、授業内で行われる実技発表の内容について評価する 発表会 50% 授業内で行われる課題発表の成果について評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度などで評価する											
履修上の注意											
この授業では、戯曲解釈や役作りのため資料調査など、予習が欠かせない。 学年末に行われる卒業公演以外は、週2回の授業時間内で稽古するため、集中して取り組むことが大切である。また、何人かのグループで稽古を行うことになるので、遅刻欠席は稽古に支障をきたすことになる。体調管理には十分な注意を払うこと。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
その都度授業にて資料配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	シアターゲーム										
第2回	五感を鋭敏にするエクササイズ										
第3回	身体トレーニング										
第4回	一人芝居を作る										
第5回	一人芝居を作る										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科 俳優コース	
舞台実習 I	
第6回	一人芝居の発表・反省
第7回	一人芝居の発表・反省
第8回	中間発表作品学習
第9回	読み合わせ
第10回	読み合わせ
第11回	読み合わせ
第12回	立ち稽古
第13回	立ち稽古
第14回	立ち稽古
第15回	立ち稽古
第16回	立ち稽古
第17回	立ち稽古
第18回	通し
第19回	舞台稽古
第20回	中間発表と反省会